



ひつさけ押寄来り大喧嘩と仕揃し小采者  
 の少も恐れず當ると幸い切立られ其勢はか  
 へき悪きしく逃すられは同志討つ腸づく  
 と何れも終小惣願とありとろーが  
 後難と思せとあり

あと以隠せし由然るこ  
 彼熊五郎に左に扱ひ置るは  
 事再降しんぬ采吉へ對し  
 男立すと

己の指を切  
 深吉を送りしもの  
 銜銃あり是を隨分使采の  
 ある者ありはづれ委しき

事りこころはなれとまら  
 其ららるるは湖  
 告くえりし世の人を  
 責めしするは野蠻の  
 笑まれまはる

情むべ  
 貳一む